

駅前ロータリーはなくさないで！ 59億円ムダづかい道路は中止を！

私たち7名の市議会議員は、共同して市民のみなさんに訴えます。

関口市長は、「修復型まちづくりで大型開発はしない」「身の丈にあった財政運営」を公約にかけつけてきました。

しかしこの間、都市計画道路3・4・10号線をはじめ駅周辺の再開発をすすめる開発優先の市政に転換しました。

その一方で、財政難を理由にさまざまな公共料金の値上げを計画しています。

私たち市議会議員7名は、このように公約を破り、約59億円を投じて道路建設を進める関口市長の市政運営には到底納得できません。

今後、市民の皆さんと力を合わせ国立市政が市民生活優先となるよう取り組んでいきます。



国立駅前周辺図

都市計画道路3・4・10号線総事業費(元利償還も含め) 補助金・市負担内訳		
総事業費	国・都補助金	市負担
59億2,500万円	37億3,500万円	21億9,000万円

2010年7月

小沢やす子、長内敏之、吉村みな、高原幸雄(日本共産党)
丸井皇明、生方裕一(民主党)、藤田貴裕(社民党)

連絡先 長内敏之576-6443 生方裕一573-3389 藤田貴裕575-8483

議員共同の申し入れに対して 関口市長はあくまでも開発優先に終始

5月17日、私たち市議会議員7名(小沢やす子、長内敏之、吉村みな、高原幸雄、丸井皇明、生方裕一、藤田貴裕)は、関口博国立市長に対し、次の3項目による申し入れを行いました。

申し入れ事項

- 1.都市計画道路3・4・10号線南工区延伸事業は中止すること。
- 2.国立駅南口のロータリー機能をなくすことなど、「国立駅周辺まちづくり計画」は抜本的に見直すこと。
- 3.市民の暮らしを守る政策を立案し、事業を進めること。

6月1日、関口市長は「都市計画道路3・4・10号線は必要」などと回答しました。その内容は、私たちが到底納得できるものではありませんでした。

回答内容

- 1.都市計画道路3・4・10号線は、「国立駅周辺通過交通の分散化」や「くにたち広場」の実現に必要な道路です。
- 2.「くにたち広場」の創出を目指して、駅周辺まちづくり事業を推進していきます。
- 3.後年度負担を軽減するために「適正な負担」()について検討していきます。

()...「適正な負担」とは公共料金の値上げと考えられます。



今後、市民負担増となる公共料金の値上げ計画 (平成22年度実施計画から)		
家庭ごみの有料化	約 2億円	平成22年に1億円、23年度にさらに1億円プラス
グリーンパス	約 700万円	平成22年350万円、23年度にさらに350万円プラス
下水道使用料	約 9,900万円	平成24年度から実施予定
自転車駐車場利用料	約 4,880万円	
都市計画税	約 1億2,900万円	
国民健康保険税	約 9,000万円	